

(様式1)

松高第704号

令和6年3月11日

高等学校教育課長 様

2\_様式1\_魅力活力\_R05 実施報告書.odt

学番 20

県立村松高等学校長

魅力と活力ある学校づくり推進事業について、下記のとおり報告します。

記

<b>村松高等学校</b>	
<b>【テーマ】</b>	<b>地域と連携した進路実現を目指して ～地域と共に1UP～</b>
<b>【目標】</b>	<p>(1) 医療、看護、介護、福祉、教育等の分野への興味・関心を高め、地域の諸課題の考察や課題解決を目指した探究活動やインターンシップ等をとおして、未来の五泉・村松の地域社会を支える人材育成を目指す。</p> <p>(2) 県立五泉特別支援学校村松分校との交流をさらに発展させ、生徒支援の充実を図り、生徒同士が自他を尊重し、共に地域社会の未来を支えていく気持ちを育む。</p> <p>(3) 生徒の進路意識を啓発し、目標を叶える進路指導の充実によって、学校の活性化、魅力化につながる教育活動を実践し、地域に情報を発信する。</p>
<b>【取組の概要】</b>	<p>(1) 探究活動等（医療、看護、介護、福祉、教育等に関する研修（全学年）、上級学校見学（1学年）、インターンシップ事前指導（2学年）、企業説明会（3学年））</p> <p>(2) 県立五泉特別支援学校村松分校との交流（対面式・避難訓練・五泉市合同企業説明会・体育祭・文化祭・ソーシャルスキルトレーニング（1学年）等）</p> <p>(3) 成果報告書、パンフレットの作成、配付。インターンシップ報告発表会、学校ホームページによる情報発信等</p>
<b>【取組の成果】</b>	<p>○本年度は、五泉市との連携による地域探究を進め、ポスターを作成し、地域の方に見ていただくことで、生徒は身近な地域の現状や抱える課題について考えることができた。また、県立五泉特別支援学校村松分校との連携、インクルーシブ教育を一層推進し、有益な学びを行うことができた。</p> <p>○これまでの活動を継続し、全学年を対象とした医療、看護、介護、福祉、教育等に関する研修を行い、地域の医療、看護、介護、福祉、教育等の状況を理解するとともに、関心や意識を高めることができた。</p>

# 1 取組の内容

## (1)地域探究学習の実施

### ①「地域探究学習①」【1学年】

実施日 令和5年5月24日(水) 5~7限  
会場 五泉市村松郷土資料館、五泉市村松公民館  
講師 五泉市生涯学習課 山崎 天氏、  
五泉市長 田邊 正幸氏



地域探究① 村松郷土資料館見学

#### 生徒の感想

- 今までは村松のことを全く知らなかったけど、村松の歴史や蒲原鉄道はどのような電車だったかなど詳しく知ることができて、とても良い機会になった。
- 生まれてからずっと五泉で育ってきて、いいことなんて特になかったけど、たくさんあって驚いた。

### ②「地域探究学習②」【1学年】

実施日 令和5年6月21日(水) 5・6限  
会場 村松地域  
講師 「お城の会」のガイドの方3名



地域探究② 城下町探索

#### 生徒の感想

- 神社や特別なお墓などがたくさんあり、村松にこんなにもたくさんすごいものがあるとは思ってなくて予想外だった。たくさん建造物を見ることができて良かった。

### ③「地域探究学習③」【1学年】

実施日 令和5年7月19日(水) 5・6限  
会場 県立村松高等学校 情報教室  
講師 情報担当教師、担任



地域探究③ 臥龍祭(文化祭)展示

#### 生徒の感想

- 一人一人が頑張り、とてもいい臥龍祭になった。
- 物事をまとめる力や地域のことをより知ることができたので、良かった。

## 地域探究ポスター

### 地域探究報告 蒲原鉄道について

蒲原鉄道の開通  
蒲原鉄道は、新蒲原駅開通の加賀野から新蒲原駅開通を契機として五泉市の全線が完成した。開通後、蒲原鉄道は、蒲原と五泉を結ぶ重要な交通手段として、地域の発展に大きく貢献した。

路線距離	23.9km
軌間	1067mm
駅数	12駅
電化区間	なし
路線設備	単線
電化設備	なし
最高速度	55km/h



### 地域探究報告

この写真は城下町と言います。昔、村松にはお城と城下町があり、今もその名残があります。そのため入り組んでいる。しかし、昔ながらの家や、工夫が見られる。



このマークは昔に存在した村松のもの。この、マークに見えるのは家紋です。家紋というのは個人や家族を識別するために用いられる日本の紋章のことです。そして村松とつながるのは村松藩は慶長16年(1639年)、徳川幕府の次男、徳川頼房が安田方を与えられたことから始まりました。その後は藩政改革に取り組みだと言われています。直虎の跡を継いで藩主となった徳川頼房が7月12日に、直虎が9月6日に死去してしまつたため、改革は頓挫したと言われます。その後高橋藩政改革は村松藩は終わりを迎えたという。高橋藩、村松藩内では藩主論が台頭し、藩主擁護と藩制改革を主張する一派と対立し、慶応2年(1866年)11月に村松七士事件(藩主擁護派の名を保守派が弾圧した事件)が起こるなど、藩内は大混乱を招いた。このため戊辰戦争に際して、新政府におもむきとなり、主張する正氣党の近衛安五郎を中心とした一派と、第11代藩主・堀直實を中心とした保守的な佐幕派に分裂した。

### 地域探究報告

動物にはお寺がたくさんあって、その多くにはお寺が建てられています。大抵は建てていない。動物にはお寺の近くにはお寺が建てられています。大抵は建てていない。動物にはお寺の近くにはお寺が建てられています。大抵は建てていない。



### 地域探究報告 城下町巡り

豊原有形文化財 村松西校正門について  
豊原有形文化財 村松西校正門は、豊原町(現・五泉市)の城下町から伝承された「西門」を豊原有形文化財として指定している。大抵は建てていない。動物にはお寺の近くにはお寺が建てられています。大抵は建てていない。



## (2) スクールソーシャルトレーニング (SST)

### ①「SST① コミュニケーションの学習」【1学年】

実施日 令和5年5月10日(水) 5・6限

会場 県立村松高等学校 1年4組教室

講師 県立五泉特別支援学校村松分校の教職員

#### 生徒の感想

- ほめたり、ほめられたりするとうれしい気持ちになった。  
この授業を活かして、いろいろな人にほめ言葉を言おうと思った。コミュニケーションは大切だとわかった。
- 入学してから、決まった人とはしか話すことがなかったが、たくさんの人と励まし合い、助け合うことができてとてもうれしかったし、楽しかった。



SST① パズル

### ②「SST② 未来パスポートをつくろう」【1学年】

実施日 令和5年9月13日(水) 5・6限

会場 県立村松高等学校 1年4組教室

講師 県立五泉特別支援学校村松分校の教職員

#### 生徒の感想

- 今まで自分のことを知っていたはずなのに、友達から「こんなことがあるよ!」と言ってもらい、まだ自分のことをよくわかっていなかったんだと思った。自分が書いたものに共感してもらい、自己肯定感が上がった気がする。
- 友達の新しい一面を知ることができて良かった。



SST② 未来パスポートづくり

### ③「SST③ 一生使える自己紹介を考えよう」【1学年】

実施日 令和6年1月17日(水) 5・6限

会場 県立村松高等学校 1年1組教室・1年2組教室

講師 県立五泉特別支援学校村松分校の教職員

#### 生徒の感想

- 全員の発表で話を広げて楽しめた。質問をしてそこから広げることで話が続くということを学べて良かった。
- 恥ずかしくても勇気を出してやれば認めてもらい前に進めることがわかった。



SST③ 一生使える自己紹介

#### 3回のSSTを終えての生徒の感想

- コミュニケーション能力が少し上がった。一生使える自己紹介も考え、隣の人とのコミュニケーションもできるようになった。自分でも知らない自分のことがあったので、もっと見つけていきたい。
- SSTをとおして人との関わり方や会話の広げ方、話を聞く姿勢などの知識や技術を身につけることができた。集まりの時にそれらの力を実践することができた。
- 自分はコミュニケーションに少し苦手意識があったけど、SSTのおかげで少しコミュニケーションに自信を持つことができた。
- クラスの人との関わりを深め、自分自身についてよく知る機会になった。あまり話す機会のない人と話すことができ、新しい自己紹介を作る良いきっかけになった。

### (3) 研修・講演会の実施

#### ① 「介護や福祉に関する研修」【1・2学年】



高齢者体験

#### ② 「医療に関する研修」【1・2学年、3学年希望者】



医療職について

#### ③ 「保育に関する研修」【1・2学年】



紙芝居 保育教諭の仕事

#### ④ 「マナー講習会」【2学年】



身だしなみやマナー

#### ⑤ 「面接対策講演会」【2学年】



面接マナーについて

#### (4) 「インターンシップ報告会」【1・2学年】



#### 生徒の感想

- 車椅子は支えている人も乗っている人も大変だということがわかったので、車椅子の人に会ったら、挨拶や手伝いを積極的にしたいと思った。(1年 介護や福祉に関する研修)
- 医療職の種類が多さや医療職の大変さ、卒業後も勉強をやめず学び続けることが必要なことが印象に残った。(2年 医療に関する研修)
- とても興味深くて、人のために働いている仕事だとわかった。(1年 保育に関する研修)
- 初めて会う人は、最初の3秒が大事。大事な点をメモして、日頃から身だしなみに気を遣うとよいと学んだ。(2年 マナー講習会)
- 2年生がスーパーや美容院など職場のことをわかりやすく説明してくれてインターンシップが楽しみになった。(1年 インターンシップ報告会)
- 発表をしてみて大勢の人の前に立ったことが印象に残っている。笑顔と挨拶、対応力が大切だと知った。(2年 インターンシップ報告会)

## (5) 「上級学校見学」【1 学年】

実施日 令和5年8月28日(月)

会場 新潟市内大学・短大・専門学校

### 生徒の感想

- 大学や専門学校など行ったこともない施設に入って、広さにびっくりした。学生が、なりたい職業に向けて頑張る姿を見て、自分も将来を見据えて頑張ろうと思った。
- 自分が希望する分野がなかったため、乗り気でなかったが、他の分野を見ることで視野が広がって将来の選択肢が増えた気がした。



上級学校見学

## (6) 「五泉市合同企業説明会」【2・3 学年】

実施日 令和5年6月14日(水)

会場 本校第1体育館

### 生徒の感想

- 様々な企業について詳しく知ることができた。将来の仕事選びに活かせると思った。(2年)
- 地元の企業の活動がわかって良かった。(2年)
- 企業の良さを知ることができた。(2年)



五泉市合同企業説明会

## 2 取組の成果

### (1) 進路希望の決定状況等

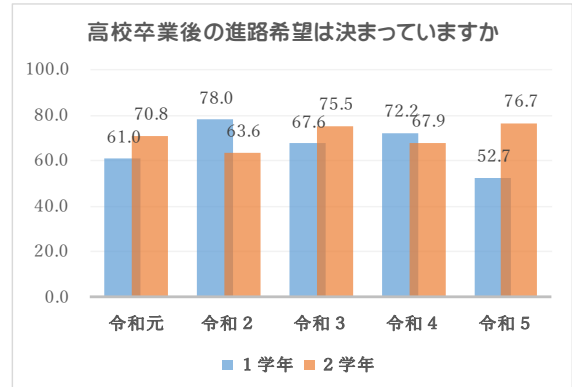
【資料1】は、県教育委員会が例年2月頃に実施している「学校生活等に関する意識調査」において「高校卒業後の進路希望は決まっていますか」という問いに対する回答のうち「はっきりと決まっている」及び「漠然と決まっている」と回答した本校生徒の割合(%)を示している。

令和5年度については、2学年が76.7%と高い値となった一方で、1学年は52.7%と5年間で最低の値となった。今年度の活動は、新型コロナによる行動

制限が緩和され、積極的に地域や県立五泉特別支援学校村松分校との連携を行い、昨年度までの活動に比べて劣るものではなく、充実して行うことができたと考えている。毎年同様に研修等を行っているにも関わらず数値の増減があることから、学年による生徒の特性や発達状況の違い等が影響していると推察されるところではあるが、2学年である程度結果が表れ、1学年で低い値にとどまった要因としては、2学年ではインターンシップを核とした体験活動をとおして、より具体的に自分の進路について考えることができ、進路希望が定まった生徒が増加し、高い値となったが、1学年では上級学校見学や様々な職業についての研修等により、就職だけでなく進学の実選択肢があることや様々な職種があることを学び、選択肢が広がり、早期の進路決定に至らなかったのではないかと考えられる。

1学年生徒の1年間の振り返りでは「将来のことについてたくさん考えることがあった。いろいろな体験や経験をし、大学の見学など苦手なことに挑戦してみたい。」という感想もあった。

### 【資料1】

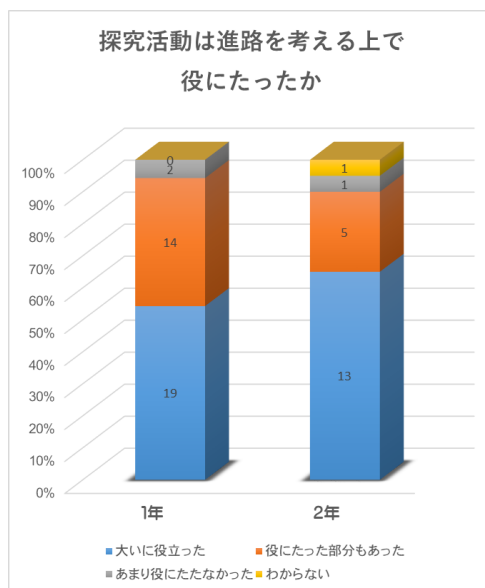


(2) 「探究活動をとおしての振り返りアンケート」より

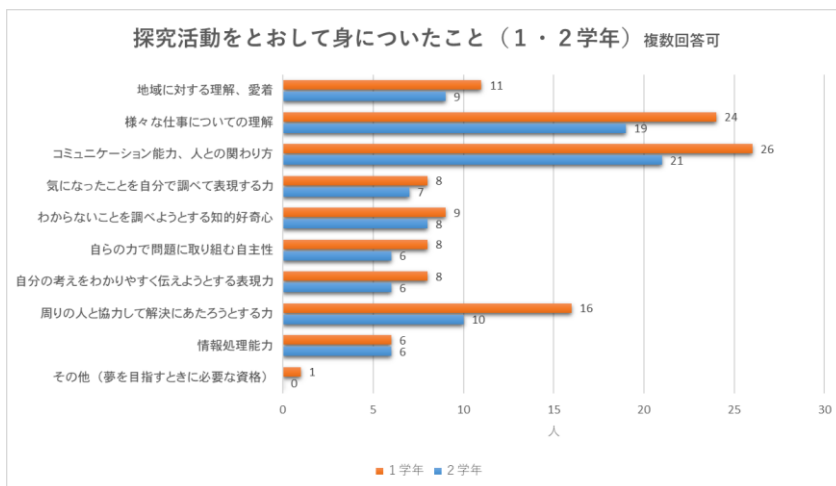
①【資料2】は、本年度の生徒アンケートの結果である。「探究活動は、高校生活の過ごし方や進路を考える上で役にたったか」の質問に対して、「大いに役立った」「役にたった部分もあった」という回答の合計は、1学年で94.3%、2学年は90%であった。このことから生徒は本事業における活動を非常に肯定的に受け止めたと考えられる。

②【資料3】は、同じく本年度の生徒アンケートで「探究活動をとおして身についたこと」を複数回答可で質問した結果(人数)である。1・2学年とも「コミュニケーション能力、人との関わり方」という回答が最も多かった。1学年では、SST、2学年ではインターンシップの事前指導としてのマナー研修やインターンシップ報告会での発表をとおしてコミュニケーションについて学んだと感じた生徒が多かったと考えられる。次に多い回答は「様々な仕事についての理解」である。様々な分野の職業について広く学ぶ機会を設けた結果と考えられる。また、「周りの人と協力して解決にあたらうとする力」が3番目に高い値となっており、人間関係の構築が難しい本校の生徒にとって有意義な学びであったと言える。

【資料2】



【資料3】



3 総合所見

- 本年度は、五泉市との連携による地域探究学習に取り組み、ポスターを作成して保護者や地域の方に見ていただいた。五泉市や地域の方が生徒に優しく関わってくださり、成果を展示できたことで、生徒は達成感を味わうことができた。また、県立五泉特別支援学校村松分校との連携により、有益な学びを行うことができた。回を重ねるごとに両校の教職員の関係や生徒理解が進み、最初は緊張気味であった生徒も安心した雰囲気の中で前向きに授業を受けるようになった。
- これまでの活動を継続し、全学年を対象とした医療、看護、介護、福祉、教育等に関する研修を行い、地域の医療、看護、介護、福祉、教育等の状況を理解するとともに、関心や意識を高めることができた。様々な職業について具体的に知ることで進路意識が向上した。

4 今後の取組

今年度は「魅力と活力ある学校づくり推進事業」3年目で締めくくりの年となった。来年度からは事業がなくなるが、今年度までの反省を活かし、3年間で積み上げてきた地域や五泉特別支援学校村松分校との連携を継続し、よりよいものへと進化させ、成果が上がるよう、内容の充実を図り、スクールポリシーを踏まえた魅力と活力ある学校づくりを一層推進していきたい。